



## ラクオリア創薬株式会社

2019年12月期決算説明会

2020年2月19日

## イベント概要

---

[企業名]	ラクオリア創薬株式会社
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2019年12月期決算説明会
[決算期]	2019年度 通期
[日程]	2020年2月19日
[ページ数]	40
[時間]	10:00 – 11:00 (合計：60分、登壇：37分、質疑応答：23分)
[開催場所]	103-0026 東京都中央区日本橋兜町 3-3 兜町平和ビル 3階 第3セミナールーム (日本証券アナリスト協会主催)
[会場面積]	145 m <sup>2</sup>
[出席人数]	18名
[登壇者]	2名 代表取締役社長 谷 直樹 (以下、谷) 取締役専務執行役員 河田 喜一郎 (以下、河田)

---

### サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

## 登壇

---

**司会**：皆さん、おはようございます。定刻となりましたので、ただ今からラクオリア創薬株式会社の IR ミーティングを開催いたします。

まず最初に、会社からお迎えしているお二人、ご紹介申し上げます。代表取締役社長、谷直樹様。

**谷**：よろしく申し上げます。

**司会**：取締役専務執行役員 CFO、河田喜一郎様。

**河田**：よろしくお願ひいたします。

**司会**：本日は、谷社長様からご説明をいただきました後、質疑応答とさせていただきます。

それでは、谷様、よろしくお願ひいたします。

**谷**：皆さん、おはようございます。今日はいろんな状況の中、お越しいただきまして、ありがとうございました。それでは、できるだけ要領よく手短にといたしますか、説明させていただきたいと思ひいます。

今回の説明では 12 月決算と、それから 2020 年から 2022 年の 12 月期の中期経営計画について、ご説明申し上げます。

---

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 2019年12月期 事業ハイライト

tegoprazan **韓国**2019年3月販売開始、好発進 **中国**フェーズ3実施中  
 GALLIPRANT® **北米**好調持続、**欧州**2019年3月販売開始  
 ENTYCE® **北米**着実に進捗、ネコでピボタル試験実施中

<b>提携拡大</b>	CJ HealthCare Corporation(韓国：以下「CJ社(韓国)」)とグローバルパートナーシップ拡大で合意、tegoprazanの <b>北米・欧州</b> ライセンスをCJ社に供与
<b>導出済プログラム</b>	P2X7受容体拮抗薬…旭化成ファーマ社でステージアップ 特定のイオンチャネル…EAファーマ社でステージアップ ジプラシドン…Meiji Seikaファルマ社が国内フェーズ3試験速報発表
<b>共同研究案件</b>	新規=あすか製薬(イオンチャネル) 新規=epigeneron(腎疾患) 新規=名古屋市立大学(筋委縮性側索硬化症/感染症) 新規=岐阜薬科大学(網膜静脈閉塞症)
<b>学会発表</b>	名古屋大学とCRHR2拮抗薬に関するポスターを共同発表

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
 Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

まず、決算概要と事業ハイライトでございます。まず、我々のラボから創出いたしました tegoprazan、逆流性食道炎の治療剤ですけれども、これが韓国で2019年、昨年3月から販売を開始いたしまして、非常に好調な売上を示しております。

また、CJ社を通じてライセンスしております、我々からいいますと、サブライセンスになるんですけれども、中国におきましても現在、フェーズ3が実施中でございます。

それから、一昨年から発売しておりますペット用の動物医薬品ですね、GALLIPRANT。これが北米におきまして、依然として引き続き好調な売上を持続しております、また欧州におきましても昨年、2019年3月から販売を開始いたしました。

もう一つの導出してありますペット用の医薬品、ENTYCEにつきましては、北米で着実に進捗いたしまして、また犬からさらに適応を広げまして、猫におきましてもピボタル試験を実施中であります。

そのほか事業面のハイライトといたしましては、CJ HealthCareとさらに連携を強めまして、グローバルパートナーシップを拡大するということで、特に、いわば韓国、中国、さらに第3世界から

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

さらに広げまして、北米、欧州におけますライセンスを CJ 社に、これを昨年の 11 月、供与しております。

それから、導出済のそのほか共同研究の成果としてあるんですけども、旭化成ファーマと実施しております、旭化成ファーマにライセンスいたしました、P2X7 受容体の拮抗薬が昨年の秋ステージアップとなっております。

それから、EA ファーマ、詳しくは先方との関係で申し上げることができないんですけども、特定のイオンチャネルの拮抗薬が、これも昨年の秋ステージアップしております。

ただ一つ、非常に残念なことですけども、向精神薬の統合失調症の治療薬、ジプラシドンにつきましては、Meiji Seika ファルマが国内フェーズ 3 を実施してございましたけれども、残念ながら、そのプラシーボに対する統計的な有意性を確認することができなかったということで、今後どのような開発を進めるかについては現在、Meiji Seika ファルマのほうと検討・協議を進めております。

共同研究案件といたしましては、これもイオンチャネル。この辺りとは別のイオンチャネルをターゲットにいたしまして、あすか製薬のほうと新たな共同研究を開始しております。

また、腎疾患を対象といたしまして、これは阪大発のベンチャーで神戸にラボを持っている、遺伝子解析の会社なんですけれども、epigeneron 社と腎疾患を対象とした共同研究を開始している。

さらに、そのほか大学との案件では、名古屋市立大学、あるいは岐阜薬科大学というところとも共同研究を開始いたしました。

また、CRHR2 拮抗薬、これは心不全の治療薬としてのポテンシャルを有しておるんですけども、これに関する研究の成果を発表しております。

この辺りが 2019 年 12 月の事業ハイライトになります。

---

## サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



**2019年12月期 連結損益計算書**

(単位：百万円)

【連結】	2018年12月期 (前期)	2019年12月期 (当期)
事業収益	744	<b>1,702</b>
事業費用及び事業原価	1,819	<b>1,718</b>
営業損失 (△)	△1,075	△15
経常利益又は経常損失 (△)	△1,064	21
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△1,104	5 

**創業来初の最終損益黒字化達成**

 2019/9/6発表の  
業績予想数値  
(1,840)から圧縮

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 4

数字面ですけれども、連結損益計算書。事業収益につきましては、2018年12月期に比べて大幅に増加して、当期事業収益は17億200万円。事業費用及び事業原価は2019年の9月に、実はMeiji Seikaファルマのジプラシドンの今後のスケジュールを見直すという発表を踏まえまして、業績予想修正をいたしました。そのときの数字では18億4,000万円の事業費用及び事業原価ということだったんですけれども、これは後でもご説明申し上げますけれども、費用の圧縮に努めまして、17億1,800万円という事業費用及び事業原価になっております。

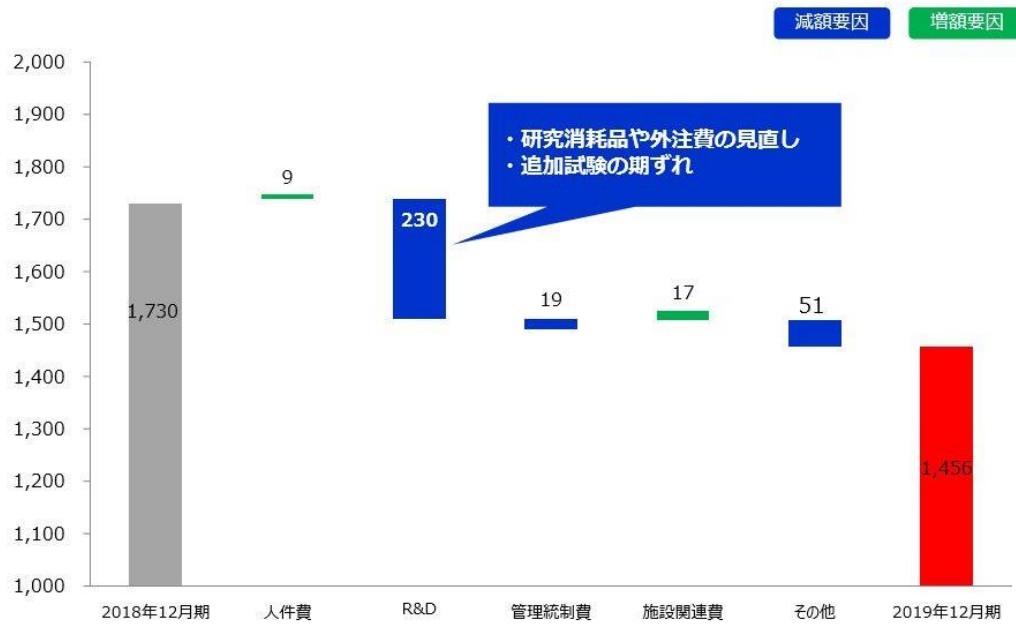
したがって、その結果、営業損失は1,500万円の損失、経常利益につきましては2,100万円の利益を計上して、さらに当期純利益につきましては500万円、非常に小さい数字ですけれども、500万円という数字を計上いたしました。弊社設立以来、初めてこの当期純利益を、ずっと損失がもちろん続いていたわけなんですけれども、今期、初めて当期純利益というものを計上することができました。

**サポート**

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 2019年12月期 事業費用の増減要因

(単位：百万円)



ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 5

主な費用増減の要因でございますけれども、非常に大きな要因としては研究部門におきまして外注費、研究消耗品等の見直しを行った。あるいは、いろんな追加試験を発注する予定だったんですけども、それが期ずれを起こしたことが、非常に大きな費用の減少の要因になっております。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

**2019年12月期 連結貸借対照表**

(単位：百万円)

【連結】	2018年12月期	2019年12月期	増減	主な増減内容
<b>流動資産</b>	1,962	<b>3,067</b>	<b>1,105</b>	
現金及び預金	1,671	<b>2,174</b>	<b>503</b>	新株予約権による資金調達
売掛金	0	<b>747</b>	<b>747</b>	契約一時金および販売ロイヤルティ
有価証券	168	<b>26</b>	<b>△142</b>	手許流動性を高めるため運転資金へ
前払費用	71	<b>69</b>	<b>△2</b>	
その他	52	<b>51</b>	<b>△1</b>	
<b>固定資産</b>	2,090	<b>1,769</b>	<b>△321</b>	
有形固定資産	317	<b>248</b>	<b>△69</b>	減価償却による減少
無形固定資産	33	<b>32</b>	<b>△1</b>	
投資その他資産	1,738	<b>1,488</b>	<b>△250</b>	手許流動性を高めるため運転資金へ
<b>資産合計</b>	<b>4,052</b>	<b>4,836</b>	<b>784</b>	
<b>流動負債</b>	164	<b>183</b>	<b>18</b>	
<b>固定負債</b>	30	<b>32</b>	<b>2</b>	
<b>負債合計</b>	<b>195</b>	<b>215</b>	<b>20</b>	
<b>純資産合計</b>	<b>3,857</b>	<b>4,620</b>	<b>763</b>	
<b>負債・純資産合計</b>	<b>4,052</b>	<b>4,836</b>	<b>784</b>	

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
 Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

これが連結貸借対照表でございます。現在、流動資産といたしまして、前期より11億500万円の増で30億6,700万円。そのうちの主なものは現金及び預金が、前期より5億300万円。これは主に新株予約権による資金調達を反映しているんですけども、21億7,400万円。それから、さらに売掛金が契約一時金及び販売ロイヤルティ、売掛金として7億4,700万円を計上している。この辺りが今回、大きな変動要因といたしますか、前期と比べて大きく動いているところでございます。

現在、資産合計が、2018年12月が40億5,200万円に対しまして、今期2019年12月期は7億8,400万円の増加で、48億3,600万円という数字になっております。

また、そのほかの負債等が減りまして、純資産、さらに負債・純資産の合計は、それぞれここにお示ししておりますような数字となっております。

**サポート**

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



**2019年12月期 連結キャッシュ・フロー計算書**

(単位：百万円)

【連結】	2018年12月期	2019年12月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△403	△530	△127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△368	216	584
財務活動によるキャッシュ・フロー	99	695	596
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	△10	△38
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△644	370	1,015
現金及び現金同等物の期首残高	2,473	1,829	△644
現金及び現金同等物の期末残高	1,829	2,200	370

**決算ハイライト**

- 営業活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、税引前調整前当期純損益が27百万円の黒字に転じたほか、売上債権の増加△746百万円などが背景
- 投資活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、投資有価証券の売却による収入301百万円
- 財務活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、新株予約権の行使による株式の発行による収入692百万円

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

キャッシュ・フローでございます。ここに細かく決算ハイライトのところに載せておりますけれども、営業活動によるキャッシュ・フローは、昨年、4億300万円のマイナスに比べまして、1億2,700万円損失が増加して、これは主として売上債権の増加、7億4,600万円を背景にして、このような数字になっております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として投資有価証券の売却による収入を計上いたしまして、今期は2億1,600万円のプラス。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、新株予約権の行使による株式の発行による収入、6億9,200万円を計上いたしまして、6億9,500万円と。

これらを全て合わせまして、現金及び現金同等物の期末残高は、昨年度より3億7,000万円増加いたしまして、22億円という数字になっております。

今まで述べさせていただきましたのは、ハイライトでございますけれども、もう少し詳しく各製品の現況、さらに通期業績予想、それから中期経営計画等について、ご説明申し上げます。

**サポート**

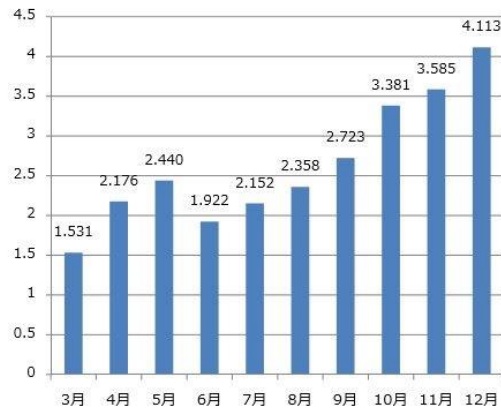
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 1) tegoprazan : 韓国 「K-CAB®」 好発進



販売用パンフレット

### 「K-CAB®」韓国での売上高 2019年3月 - 12月



院外処方データ (bw)  
出典: UBISTデータ

ご注意: 本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 8

まず、K-CABでございますけれども、いわゆる逆流性食道炎の治療剤で、この領域といたしましてはH2 ブロッカー、それからネキシウムとかパリエット等のPPIですね。その後続く第3世代の胃酸分泌抑制に基づく、いろんな消化器症状の改善、治療を行う薬ですけれども。

このK-CABが、これは2010年ですね。韓国の当時のCJグループの中のCJ HealthCare。現在、CJ HealthCareはKolmarグループに属しておりますけれども、このCJ HealthCareにおきましてK-CABという、KはいわゆるKポップスのKということなんだそうですけれども、発売されました。

これは当然、実売の数字はいろんな業務秘密の、コンフィデンシャルティの問題がありますのでお示しできないんですけれども、公表されている数字を拾いました。これは院外処方の数字です。だから要するに、病院の外の院外薬局で処方される数字です。これは着実に3月の発売以来、特に昨年の12月は非常に好調な数字を示しております。

今期もさらに伸びは続くと、我々、期待しておりますし、またCJ HealthCareもそのような意気込みを持って進めております。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

実際の数字はこれに実は院内処方の数字が入っておりますし、実際の数字はもちろん売上高はこれをさらに上回る数字。それにかかるロイヤルティですね。何パーセントかは当然申し上げられないんですけども、その数字が我々に対する収入になってくる。これは医薬品業界、通常の一般的な仕組みでございます。

いずれにせよ、K-CAB は非常に好調で、来期以降もこの伸びが続いていくことを我々は予測といえますか、期待しております。



## 1) tegoprazan : 中国 第Ⅲ相臨床試験進行中



### ■ サブライセンス先

- Luoxin社（中国）

### ■ 第Ⅲ相臨床試験の概要

- びらん性胃食道逆流症を目標適応症として主要評価項目達成
- 非びらん性胃食道逆流症の臨床試験が進行中
- 十二指腸潰瘍の臨床試験を検討中

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

CJ HealthCare におきましては、そのほかの国々に対しても非常に活発なライセンス活動、ないし支援活動を展開しております、まず一番大きな市場でございます中国ですね。これは上海の会社であります Luoxin、いわゆる民族系の中でも非常に有力な、消化器に強いメーカーなんですけれども。この Luoxin 社が第Ⅲ相試験の中で、昨年の秋だったと思うんですけども、びらん性胃食道逆流症、これはメインの適応症なんですけれども、これで主要評価項目を達成したという発表を行いました。

## サポート

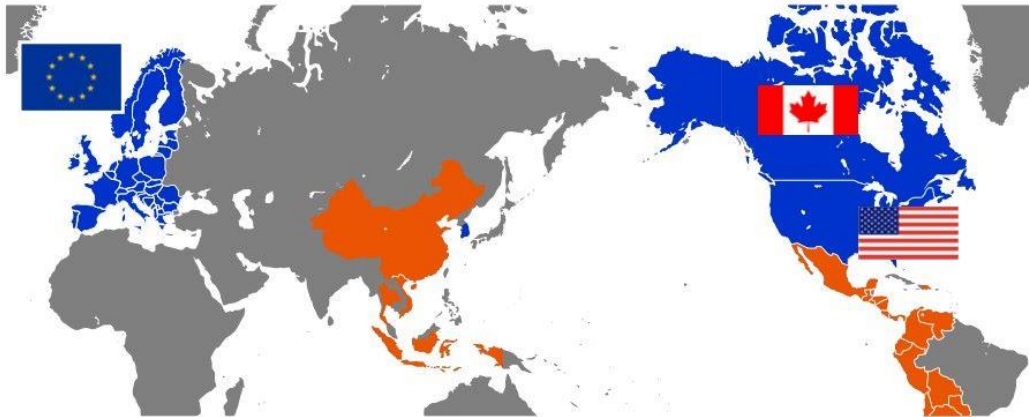
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



それから、いわゆる、これは非びらん性、我々の言葉では NERD と呼んでいるんですけども、この臨床試験も進行中と。さらに、十二指腸潰瘍についても検討中ということで、Luoxin による中国の開発は順調に、かつ加速して進められていると我々は認識しております。



## 1) tegoprazan : 世界展開 グローバルパートナーシップ拡大



2019年11月26日  
CJ社（韓国）とのグローバルパートナーシップ拡大  
tegoprazanの北米・欧州の独占的ライセンスを許諾

欧米ビッグマーケットに参入へ  
CJ社（韓国）との連携をより強固に

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

10

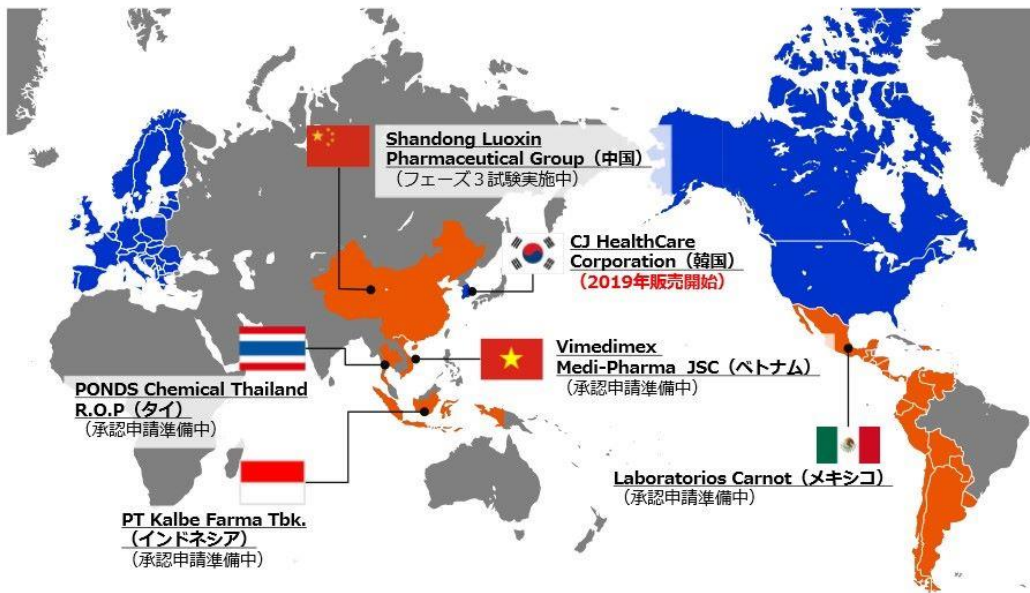
さらに昨年の11月の終わりに、CJ社との間でグローバルパートナーシップを拡大するということで、tegoprazanの北米、欧州の独占的ライセンスを許諾いたしました。ここに書いてございませとおり、欧米ビッグマーケットに参入して、連携をより強固にしていくということで、現在、これにつきましてはCJ社のほうで、特に米国にまずはターゲットを絞って、米国の開発の準備作業を鋭意進めている段階でございます。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



1) tegoprazan : 世界展開 サブライセンス状況



ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 11

そのほか、いわゆるレスト・オブ・ザ・ワールドにつきましても、着実にライセンス先を決定しておりまして、ベトナム、タイ、インドネシア、それから大きなところでは南米ですね、ブラジルを除く中南米。この辺りについてCJ社のほうでライセンス先を決定して、それぞれ承認、申請の準備を進めているところで、非常にこの tegoprazan は順調に開発、かつ提携先のワールドワイドな拡大が進んでいる状況になっております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 2) ペット用医薬品 : GALLIPRANT®

**Galliprant**  
(grapiprant tablets)



適応症	犬の変形性関節症（慢性炎症性疼痛）
販売元	Elanco Animal Health Inc.（以下「エランコ社（米国）」） （2019年7月エランコ社（米国）がAratana Therapeutics Inc.を子会社化、新販売体制構築）
参考情報	非ステロイド性消炎鎮痛剤（NSAIDs）でのリーディングブランド

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

12

次にペット用医薬品に移りますけれども、まずエランコですね。これはもともと我々、動物薬のベンチャー会社でありますアラタナという会社、カンザスシティに本社を持っていた会社なんですけれども、このアラタナにライセンスいたしましたけれども。

昨年の7月にエランコ、これはもともとイーライリリーの動物薬部門で、本社もインディアナポリスにあるんですけれども。そこがエランコアニマルヘルスというかたちで、イーライリリーから分離独立したんですけれども、このエランコアニマルが、このアラタナを買収いたしまして、子会社化いたしました。

新販売体制を構築いたしまして、この GALLIPRANT、いわゆる犬の痛みですね。もちろん、犬は痛みを自分で訴えるわけじゃないんですけれども、歩行困難とか、そういう症状は当然、飼い主のほうからは見えるわけなんですけれども。これに効果があるということで、現在、これはエランコ社が、いわば最優先品目として、その販売を進めているということです。これもハイライトのところでも述べましたけれども、欧州を含めまして、この GALLIPRANT の売上高は順調に拡大している状況でございます。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 2) ペット用医薬品 : ENTYCE®

entyce®  
(capromorelin oral solution)



適応症	犬の食欲不振症（体重減少）
販売元	エランコ社（米国）
参考情報	エランコ社（米国）による販促強化 米国にて慢性腎臓病の高齢ネコを対象にピボタル試験実施中

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

13

もう一つの動物薬につきましては、ENTYCE という、これは食欲増進、犬の食欲不振（体重減少）等に使うということで、これは GALLIPRANT に比べると、なかなか新しいコンセプトに基づくということで、販売が我々の目から見ますと、思ったほど進んでいなかったんですけども、エランコ社に買収されたことによって、販売促進活動が強化されております。そういうことで、今後は順調に伸びていくことを期待しております。

また、猫につきましても、この試験を実施、猫への適応拡大をエランコ社は進めておりまして、この領域における販売を非常に我々、期待しております。

ですから、ペット用医薬品、この2剤につきましては、もちろんこれも先ほどの tegoprazan と同じように、ロイヤルティ収入というかたちで我々の業績に反映されるわけなんですけれども、今後の伸長に、非常に期待を持って見ております。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

### 3) イオンチャネル創薬

#### ■ 製薬企業4社と共同研究等を実施

会社名	内容	直近の状況
EAファーマ株式会社	消化器領域における特定のイオンチャネル 現在、同社にて開発中	2019年9月 マイルストーン達成
マルホ株式会社	選択的ナトリウムチャネル遮断薬 現在、同社にて開発中	2017年12月 ライセンス契約締結
旭化成ファーマ株式会社	P2X7受容体拮抗薬 (RQ-00466479、AKP-23494954) 現在、同社にて開発中	2019年10月 マイルストーン達成
あすか製薬株式会社	特定のイオンチャネルを標的とした共同研究	2019年7月 共同研究契約締結

#### ■ 探索研究段階における共同研究



探索研究ステージを基本に、当社と製薬会社の双方が持つ強みを持ち寄り、革新的な開発化合物の創出を目指す

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 14

そのほかイオンチャネル創薬につきましては、現在、EAファーマ、マルホ、旭化成ファーマ、それから、あすか製薬と、それぞれ開発が進めておられます。ただ、この辺りにつきましては相手方さんの会社の状況もありまして、あまり詳しい状況は申し訳ないですけれども、申し上げられるような状況にはないんですけれども、いずれも順調に開発が進んでいるとだけ、お話ししておきます。

いずれにいたしましても、全て我々の場合は共同研究をベースにして、ある一定の段階に至った段階で、それをライセンスすると。以降の開発はパートナーにお任せすると。ただし、こういう仕組みといたしましては、マイルストーン、それから上市された場合のロイヤルティは当然我々、共同研究のパートナーとして、そういう利益配分を受けるというスキームにのっとって開発を進めております。

これらイオンチャネルというのは、非常に副作用との分離とかが難しい領域なんですけれども、非常に我々としては現在、イオンチャネルでこれだけの前臨床、もしくは一定の段階に進んだものを持っているのは、我々が世界の中でも屈指のレベルに達していると。非常に我々のイオンチャネルの研究が、世界有数のレベルにあることを示しているんだと、私どもは自負しております。

#### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



## 4) テムリック株式会社：タミバロテンの状況

- 急性骨髄性白血病（AML）は、未治療および再発・難治の患者さんを対象とし、5-アザシチジン（プリストル・マイアーズ スクイブ）と併用した場合の効果や安全性を調べるフェーズ2試験を実施中。中間データの結果は良好。
- 乳がん（BC）は、AMLの併用試験の効果状況を鑑みて開始予定。
- 神経芽腫（NB）は、Epigenetic作用薬との併用により、POCを確立し、新薬承認を目指す。
- 急性前骨髄球性白血病（中国・APL）は、亜ヒ酸との併用によるATRA再発並びに不応性APLに対する中国での輸入承認を目指す。
- 好中球減少症（NP）は、導出交渉中で、可能な限り早期契約締結を目指し、がん適応以外への拡大を図る。

適応症	導出先	探索	前臨床	臨床試験			申請	承認	販売	契約地域
				フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3				
急性骨髄性白血病 Acute Myeloid Leukemia: AML	Syros Pharmaceutical, Inc. (米)	○	○	○	●	○				米国
乳がん Breast Cancer: BC	Syros Pharmaceutical, Inc. (米)	○	○	○	○	○				米国
神経芽腫 Neuroblastoma: NB	大原薬品工業株式会社	○	○	○	●	○				日本
急性前骨髄球性白血病 Acute Promyelocytic Leukemia: APL	東光薬品株式会社	○	○	○	○	○	●			中国
好中球減少症 Neutropenia: NP	導出交渉中	○	○	○	○	○				アジア

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

15

あとあまりここで申し上げる機会はなかったんですけれども、前回、前々回。タミバロテンですね。これは我々の子会社でありますテムリック株式会社が、これはもともとビタミンAの誘導体として、実は日本ではもう10年以上前から東光薬品、それから販売パートナーは日本新薬さんなんですけれども、販売されております。

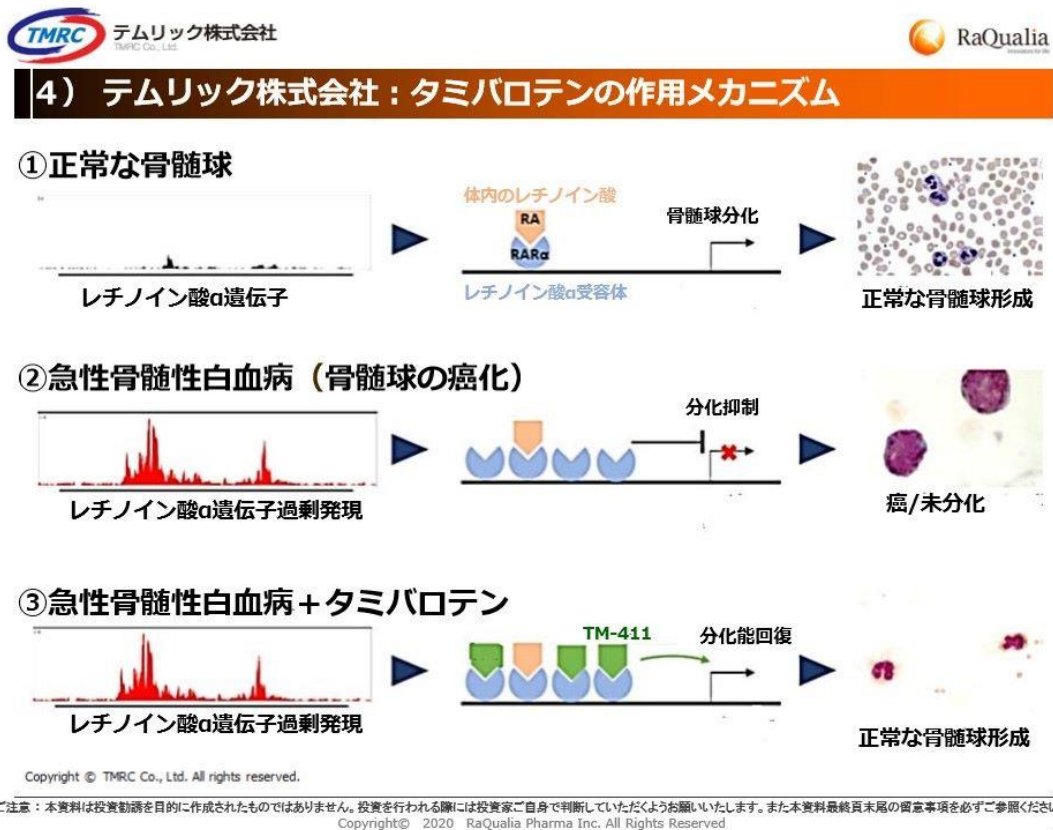
このものが新しい適応症、我々は、白血病というのはいろんな種類があるんですけれども、いわゆるAMLと。これはどちらかといえば、中高年の方に多い病気なんですけれども、これをAMLに適応症にして、これを我々は買収する、買収というか子会社にする前に既に、Syros Pharmaceuticals、これはボストンに本拠を有するベンチャーなんですけれども、これが現在フェーズ2を実施しております。

この中間データの結果はきわめて良好ということで、我々、また後でも述べますけれども、期待値といたしましては2020年にフェーズ2を終了して、次の段階へ進展すると期待しております。この薬剤についてはそのほか、いくつか開発は進めておりますけれども、何といたってもやっぱり非常に重要なのは、この米国で進められておりますAMLに対する治験、これが非常に進んでおります。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

これはまた後でもご説明申し上げますけれども、非常に新しいコンセプトに基づいた開発が進められているということで、これはこの領域は非常に競合が激しいんですけれども、独自のポジションを占めると期待しております。



これも非常にサイエンティフィックになって恐縮なんですけれども、この薬、AML というのは要するにこの RARα という受容体が非常に多くなって、これが癌化を引き起こすと。この中にこれが、我々の薬剤といいますか、このタミバロテンが出ると、これをブロックしてということになるんです。

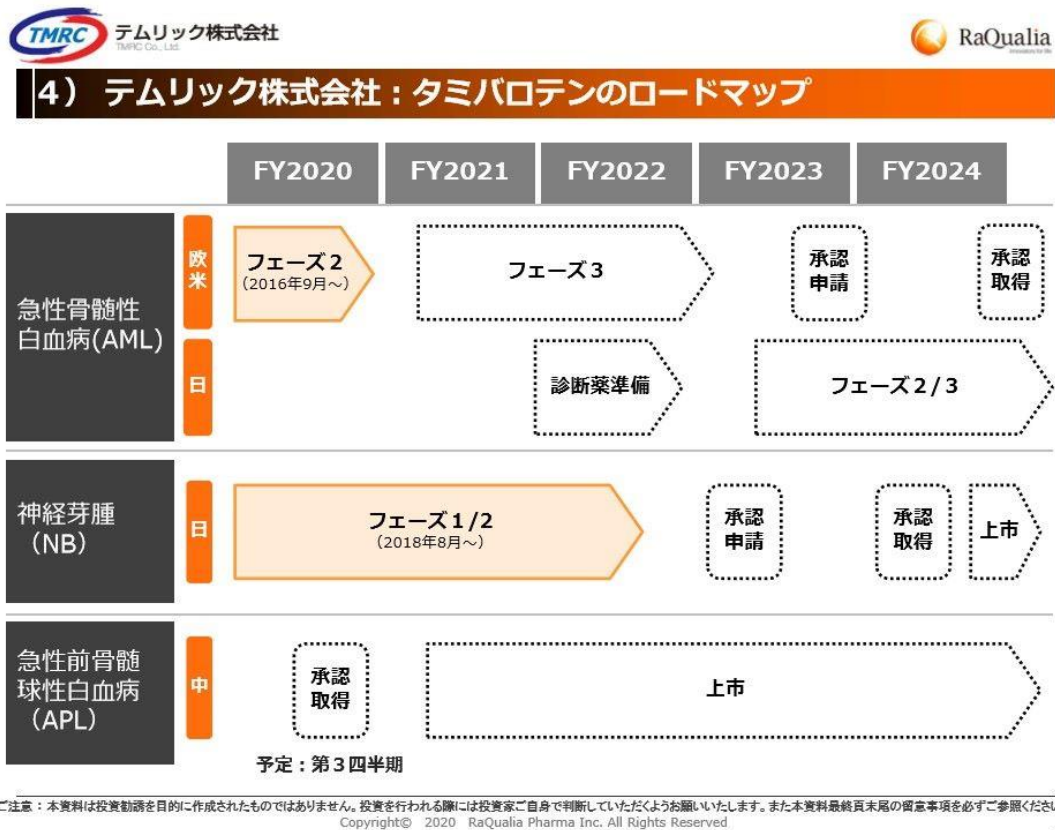
そこはそういうことなんですけれども。実はこのタミバロテンの開発が非常に独自ののは、この RARα という受容体、ビタミン A の誘導体の受容体なんですけれども、これを発現している患者をあらかじめセレクションして、これが高頻度に発現している患者さんに対して、このタミバロテンを投与するという、いわゆる最近のがん治療の一つの流れであります、プレジジョン・メディシンですね。あらかじめ薬剤が効きそうな患者を選択して、その患者を選択することによって、効果的な有効率を発現させていく、そういうプレジジョン・メディシンという流れに沿っております。

**サポート**

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



ですから、これは非常に新しい理論で、もともとこの薬剤がこの Syros にライセンスされた経緯も、彼らは要するにこういう挙動を示す薬剤をスクリーニングしておりまして、化合物を。その中からある意味ではたまたま、既に日本で発売されていた、このタミバロテンをキャッチしたということで、非常に面白い成立経緯といえますか、経緯をとって、今、開発が進められております。非常にがん治療の中でも、今現在いろんながん治療の流れが進められているんですけども、その中でも独自のポジショニングを占めて、非常に我々としても期待している薬剤でございます。



現在、特にこの欧米に焦点を絞りますと、今年、多分、今、Syros のいろんな電話でのカンファレンスの状況なんかを聞いておりますと、一応、今年末にフェーズ2のデータを全て集約して、21年にはフェーズ3へ入っていくという Syros の計画を立てておりまして、我々としても非常に大きな期待を持っております。

もちろん詳しくは申し上げられませんが、当然フェーズの進捗に伴って、それぞれマイルストーンがテムリックに支払われる構造になっておりますので、ファイナンス的な意味からも非常に大きな貢献を期待しております。

**サポート**

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



**2020年12月期 業績予想**

(単位：百万円)

【連結】	2019年12月期 (実績)	2020年12月期 (計画)
事業収益	1,702	2,129
事業費用及び事業原価	1,718	2,059
営業利益又は営業損失(△)	△15	70
経常利益	21	85
親会社株主に帰属する当期純利益	5	13

**トピックス**

- 事業収益は、韓国におけるtegoprazan（韓国商品名：『K-CAB®』）の販売が順調に推移するとみられるうえ、GALLIPRANT®、ENTYCE®のペット用医薬品2品も堅調に推移する見通しで、ロイヤルティ収入はさらに拡大すると見込んでおります。
- ライセンス・アライアンス活動を推進し、契約一時金やマイルストーン収入の受領を見込んでおります。
- 事業費用につきましては、探索段階および開発初期段階の各プロジェクトを進捗させるために投資を行う一方で、引き続き経費等の適正化を進め、収益体質の強化に努めてまいります。

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

18

次に、12月期の通期業績予想でございますけれども、これは数字といたしましては、事業収益が今期より約4億円増加で、21億2,900万円。これは主として韓国におけるtegoprazanの販売が順調に推移すると。それから、GALLIPRANT、ENTYCEも堅調に推移する見通しで、ロイヤルティ収入がさらに大きく膨らんでいくと。

さらに、この中にはライセンス・アライアンス活動を活発に推進して、契約一時金やマイルストーン収入の受領見込みと、それらを全て合わせまして21億2,900万円。

事業費用につきましては、各プロジェクトを進捗するために必要な投資を行うということで、今期より約3億円の増加で、20億5,900万円を見込んでおると。

その結果として、営業利益が7,000万円、経常利益が8,500万円、それから当期純利益が1,300万円の、それぞれ利益を織り込む計画になっております。

**サポート**

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 中期経営計画「Gaia2021」の概要と数値目標

(単位：百万円)

【連結】 (単位：百万円)	2018年12月期 (実績)	2019年12月期 (9/6時の計画)	2019年12月期 (実績)	2020年12月期 (計画)	2021年12月期 (目標)	2022年12月期 (目標)
事業収益	744	1,756	<b>1,702</b>	<b>2,129</b>	<b>2,543</b>	<b>2,535</b>
事業費用	1,819	1,840	<b>1,718</b>	<b>2,059</b>	<b>2,209</b>	<b>2,168</b>
(内) 人件費	607	625	<b>616</b>	<b>705</b>	<b>770</b>	<b>789</b>
(内) 研究開発費	451	267	<b>221</b>	<b>396</b>	<b>358</b>	<b>360</b>
営業利益又は 営業損失 (△)	△1,075	△84	<b>△15</b>	<b>70</b>	<b>334</b>	<b>367</b>
経常利益又は 経常損失 (△)	△1,064	△82	<b>21</b>	<b>85</b>	<b>362</b>	<b>384</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 に帰属する当期純損失 (△)	△1,104	△106	<b>5</b>	<b>13</b>	<b>247</b>	<b>322</b>
為替 (米ドル/日本円)	110.91	110.00	<b>109.55</b>	<b>110.00</b>	<b>110.00</b>	<b>110.00</b>

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 19

さらに、中期経営計画でございますけれども、事業収益につきましては順調に 21 億 2,900 万円からさらに 25 億円の数字。それから、2022 年の 12 月期には同じような数字で、25 億円の数字。事業費用も若干増えるかたちをとるんですけれども、特に人件費を、これはまた後でご説明申し上げますけれども、人件費の一定の拡大を見込んでおります。

その結果として、この中期経営計画におきましては営業利益、経常利益、それから当期純利益が順調に 20 年、21 年、22 年と、拡大していく中期経営計画。我々は Gaia2021 と呼称しているんですけれども、そのような中期経営計画を立案しております。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 事業収益の推移



契約一時金・マイルストーン収入による事業収益の着実な増加から  
ロイヤルティ収入による事業安定化フェーズへの移行へ

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

20

我々、いわゆる創薬ベンチャーから、さらに契約一時金、これが先ほどの数字をグラフ化したものですが、契約一時金・マイルストーン収入による事業収益の着実な増加。いわゆる非常に、当然創薬ベンチャーというのは開発の進展、それに伴う一時金の入ったり入らなかったりとか、あるいは開発品が途中ドロップしたりとか、そういうことで、日本の創薬ベンチャーを見ておられても、非常に業績がある意味どかさかすかするというものが、日本の実は創薬ベンチャーの実情かと私は理解しているんですけども。

そこから一步踏み出して、あるいは脱却してといいますか、非常に事業が安定化するようなかたちでの創薬ベンチャーへ移行していくと。この3カ年計画の、中期計画の大きなポイントは、いわゆるこの事業収益が振れることなく、安定的に拡大していくと。そういうフェーズへ移行していく。これが今期の2020年から21年、22年と続きます、中期経営計画の大きな意義と考えております。

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

**費用の概要**

(単位：百万円)

【連結】 (単位：百万円)	2018年12月期 (実績)	2019年12月期 (当初計画)	2019年12月期 (実績)	2020年12月期 (計画)	2021年12月期 (目標)	2022年12月期 (目標)
①事業原価	89	272	262	224	348	370
②事業費用	1,730	1,568	1,456	1,835	1,861	1,798
(内) 人件費	607	625	616	705	770	789
(内) 研究開発費	451	267	221	396	358	360
(内) 管理統制費	255	273	236	317	288	288
(内) 施設関連費	204	235	221	223	255	206
(内) その他	213	168	162	192	190	155
合計 (①+②)	1,819	1,840	1,718	2,059	2,209	2,168

<b>2020年12月期</b>	人件費は創薬基盤の拡充を目指した研究員の採用等で増加。 研究開発費は自社プログラムの開発を進捗させるための委託研究費の増額で増加。 管理統制費は研究開発活動の加速化を図り、専門家等のサポートを増やす。
<b>2021年12月期</b>	人件費は増額。創薬基盤の拡充に加え、開発を加速させるための人員を採用。 研究開発費は委託研究費の一巡等で減少。
<b>2022年12月期</b>	人件費は増額。創薬基盤の拡充に加え、開発を加速させるための人員を採用。

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 21

それを数字的に述べますと、この中期経営計画につきましては、事業原価は順調に増えております。それにつきまして、特に人件費ですね、事業費用の中で人件費、これはここにコメントしておりますけれども、創薬基盤の拡充を目指した研究員の採用等で、特に創薬基盤の拡充を加えて、この中期計画におきましては、開発を加速させるための人員をさらに強化していくところを考慮しております、人件費が増加していくと。

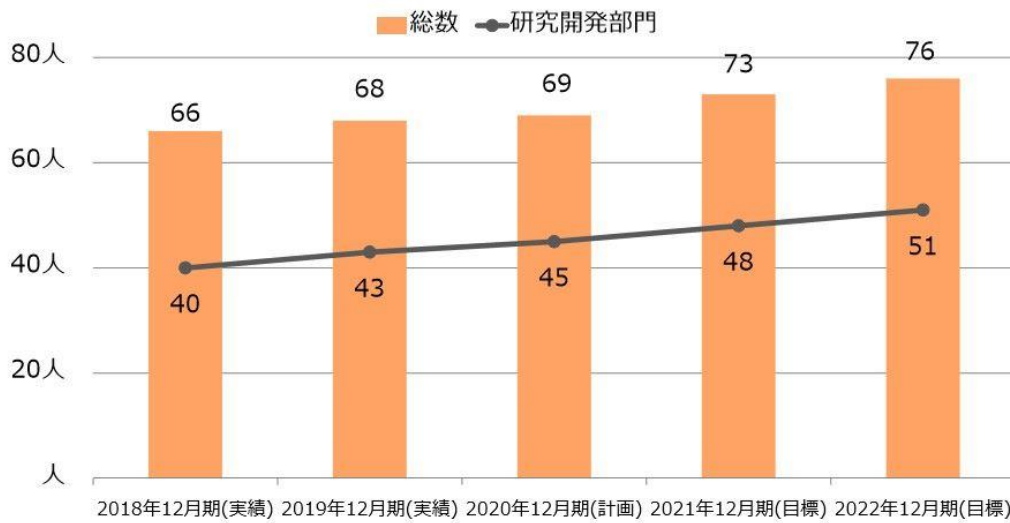
研究開発費は委託研究費が増加するというところで、若干の増加を、これも見込んでおります。もちろん当面の事業費用の範囲内でのバランスの取れた増加は、この中期経営計画の間で我々が計画しているところがございます。

**サポート**

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

人員計画

提出日現在



※. 当社連結、休職者含む、臨時職員等除く

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 22

少しさらに細分化いたしますと、人員につきましてはこのように微増していくと。これは優秀な若手研究者等を採用していくところ、プラス、先ほど言いましたように開発関係の人材も増やしていくことで、このように中期経営計画の間で研究開発部門の増加、総人員といたしましても、現在の68名の規模から若干増加するかたちでの人員増を見込んで計画しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 資金調達戦略

### ■基本方針

- 継続的な事業費用圧縮努力により、各年度の期末資金残高は30億円を維持
- 原則として、運転資金は事業収益からの資金収入と事業費用圧縮効果により調達
- 余剰資金は創業加速化のため、探索研究費と既存プログラム価値向上のため、研究開発費用に充当し、早期収益化を目指す
- 市場から理解を得られる株主価値向上に根ざした/明確なEquity storyを持った資金調達戦略の提示と実行

### ■実績（現預金、投資有価証券等）

- 2019年度末の資金残高実績（約36億円）

### ■資金調達方法

- 安定株主発掘のための第三者割当増資
- 公募増資
- 新たな資金調達手法の検討（プロジェクト毎のファイナンス等）
- 保有資産の有効利用
- Debtの検討

市場から理解を得られる株主価値向上に根ざした  
明確なEquity Storyを持った資金調達戦略の提示と実行

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 23

資金調達戦略ですけれども、基本方針といたしましては、継続的な事業費用圧縮努力により、各年度期の期末資金残高は30億円を維持する。原則として、運転資金は事業収益からの資金収入と事業費用圧縮効果による調達。余剰資金につきましては、探索研究費、既存プログラム価値向上のための研究開発費用に充当して、早期収益を目指す。さらに、市場から理解を得られる明確なEquity Storyを持った資金調達戦略を提示、実行すると。

現在、実績といたしましては、2019年度末の資金残高実績として、企業活動を展開するのに十分な金額であります36億円の資金残高を有しております。

今後の資金調達方法といたしましては、ここに書いてありますとおり、第三者割当増資、公募増資、新たな資金調達、保有資産の有効利用、あるいはDebtの検討等を資金調達方法として考えております。

いずれにいたしましても、市場から理解を得られる株主価値向上に根ざした、明確なEquity Storyを持った資金調達戦略を提示し、実行していく所存でございます。

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 1) 主な導出済みプログラム (ヒト)

プロジェクト	化合物 (一般名)	導出先	主適応症	探索	前臨床	臨床試験			申請	承認	販売	
						フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3				
ジブラシドン	RQ-00000003	Meiji Seika ファルマ社	統合失調症	○	○	○	○	●			フェーズ3実施中(日)	
				○	○	○	○	○			2019年発売(韓)	
カリウムイオン拮抗型 アシッドプロテクター (P-CAB)	RQ-00000004 (tegoprazan)	CJ社(韓国)	胃食道逆流症	○	○	○	○	●			フェーズ3実施中(中)	
				○	○	○	○	●			フェーズ1終了(米)	
EP4拮抗薬	RQ-00000007 (grapiprant) RQ-00000008	AskAt社	がん	○	○	○	○	●			フェーズ1実施中(米)	
				○	○	○	○	●			フェーズ1実施中(中)	
			疼痛	○	○	○	○	○	●			前期フェーズ2終了(米)
				○	○	○	○	○	●			フェーズ1実施中(中)
COX-2阻害薬	RQ-00317076	AskAt社	疼痛	○	○	○	○	○	○	○	○	前期フェーズ2終了(米)
				○	○	○	○	○	○	○	○	○

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

24

あと、主なパイプラインの状況等でございますけれども、これはジブラシドンについては先ほど申しましたように、現在 Meiji Seika ファルマとの間で今後の開発をどのように進めるかについて協議中と。

P-CAB については先ほど申しましたとおりです。

AskAt のほうにライセンスしております EP4 拮抗薬及び COX-2 阻害薬につきましては、それぞれ AskAt 社のほうで米国ならびに中国におきまして、フェーズ 1 試験が実施中でございます。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 1) 導出準備プログラム

- カリウムイオン競合型アシッドブロッカー：P-CAB (tegoprazan/RQ-00000004) は、フェーズ1の治験総括報告書 作成完了 (2016年12月)
- 5-HT<sub>4</sub>部分作動薬 (RQ-00000010) は、フェーズ1の治験総括報告書作成完了 (2017年10月)
- 5-HT<sub>2B</sub>拮抗薬 (RQ-00310941) は、フェーズ1の治験総括報告書作成完了 (2018年4月)
- モチリン受容体作動薬 (RQ-00201894) は、前臨床試験が終了、フェーズ1の検討中
- グレリン受容体作動薬 (RQ-00433412) 及びTRPM8遮断薬 (RQ-00434739) は、前臨床試験の検討中

プロジェクト	化合物	主適応症	探索	前臨床	臨床試験			申請	承認	販売	実施地域
					フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3				
カリウムイオン競合型アシッドブロッカー (P-CAB)	RQ-00000004 (tegoprazan)	胃食道逆流症 (GERD)	○	○	●						日本
5-HT <sub>4</sub> 部分作動薬	RQ-00000010	胃不全麻痺 機能的胃腸症 慢性便秘	○	○	●						英国
5-HT <sub>2B</sub> 拮抗薬	RQ-00310941	下痢型過敏性腸症候群 (IBS-D)	○	○	●						英国
モチリン受容体作動薬	RQ-00201894	胃不全麻痺 機能的胃腸症 術後イレウス	○	●	○						日本
グレリン受容体作動薬	RQ-00433412	がんに伴う食欲不振 悪液質症候群 脊髄損傷に伴う便秘	●	○	○						日本
TRPM8遮断薬	RQ-00434739	神経障害性疼痛 (化学療法起因性 冷アロディニア)	●	○	○						日本

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 25

そのほかの我々の消化器領域につきましては、それぞれがフェーズ1を終了した、あるいは前臨床試験を終了した、現在このようなパイプライン。ここで RQ-00000004 が出ておりますのは、我々自身の自社品としては日本でフェーズ1を終了した段階で、そういうところなので、あえてこのところで改めて挙げております。

そのほか RQ-00000010、RQ-00310941、RQ-00201894、RQ-00433412、あるいはイオンチャネルブロッカーであります RQ-00434739、これはそれぞれについて一定の前臨床試験を実施するとともに、引き続きパートナーを確保するためのライセンス活動を積極的に展開しております。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 2) 特許関連ニュース

日付	対象	地域	内容
2019年12月20日	選択的ナトリウムチャンネル遮断薬 (アミド誘導体)	韓国	物質特許
2019年10月29日	選択的TRPM8遮断薬 (アザスピロ誘導体)	日本	物質特許
2019年8月6日	カリウムイオン競合型アシッドブロッカー (P-CAB) に関する新規用途	欧州	用途特許
2019年7月23日	Nav1.7およびNav1.8ナトリウム遮断薬 (アミド誘導体)	日本	物質特許
2019年4月9日	グレリン受容体作動薬 (セリン誘導体)	韓国	物質特許

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 26

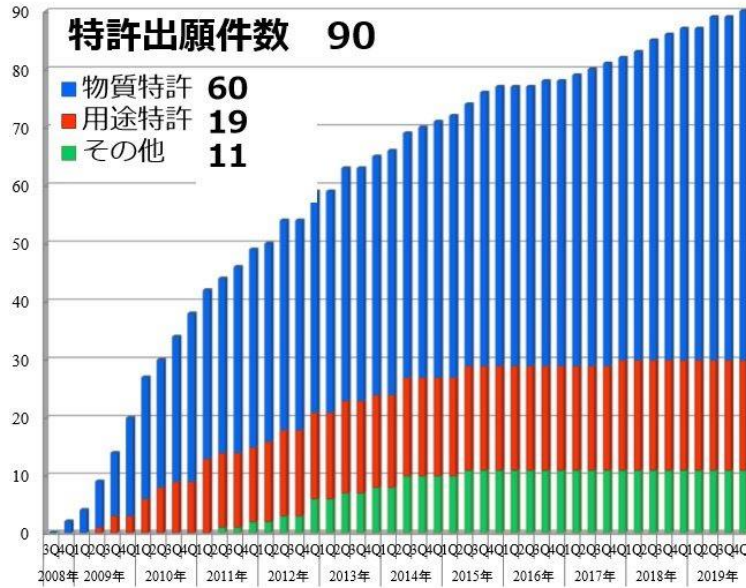
特許関連ニュースといたしましては、昨年度は5報ほど開示いたしました。それぞれ非常に、我々のパイプラインを充実させるために重要な特許であると認識しております。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

2) 特許出願状況

(各国移行件数を除く)



ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 27

特許出願件数も、用途特許は若干頭打ち傾向にあるんですけれども、根本となります新規の物質特許につきましては順調に出願しておりまして、特許出願件数は創設以来、これも順調に伸びまして、現在 90 個に達しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

### 3) 産学官連携の状況

#### 難治性神経芽腫の治療薬の開発を目的とした特定の酵素の選択的阻害剤の探索 (2015年5月)

名古屋大学大学院医学系研究科生物化学講座分子生物学 (門松 健治 教授)

#### 心不全治療薬の開発を目的とした特定タンパク質に対する選択的阻害剤の探索 (2015年10月)

名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科学 (竹藤 野人 助教)

#### 非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) 治療薬の探索 (2016年9月開始、2018年10月更新)

名古屋大学環境医学研究所分子代謝学分野 (菅波 孝祥 教授)

#### 細胞老化を利用した変異型KRAS肺癌の新規治療薬開発 (2018年1月)

名古屋大学大学院医療技術学専攻病態解析学講座 (佐藤 光夫 教授)

#### TRPM8遮断薬 (RQ-00434739) の中枢における作用機序の解明 (2018年10月)

名古屋大学環境医学研究所脳機能分野 (澤田 誠 教授)

#### 網膜静脈閉塞症 (RVO) 治療薬の探索 (2019年5月)

岐阜薬科大学生体機能解析学大講座薬効解析学研究室 (原 英彰 教授)

#### 筋委縮性側索硬化症 (ALS) の新規治療薬の創出に向けた初期探索研究 (2019年7月)

名古屋市立大学薬学系研究科病態生化学分野 (築地 仁美 講師)

#### マクロライド耐性型A群レンサ球菌に対する新規治療薬開発 (2019年12月)

名古屋市立大学医学系研究科細菌学分野 (長谷川 忠男 教授)

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

28

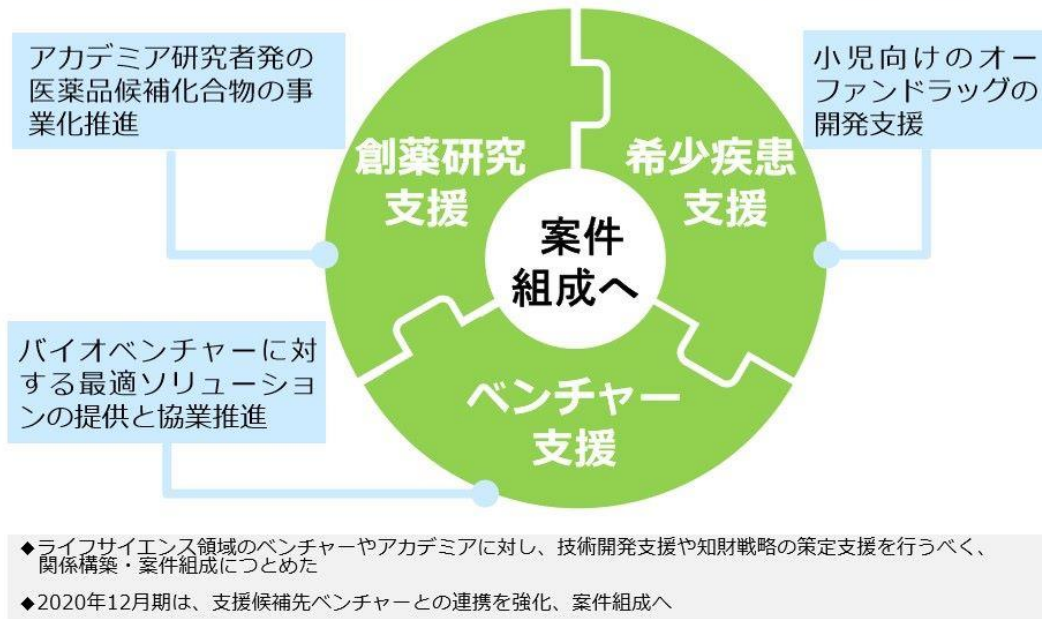
産学官連携の状況でございますけれども、ここに述べさせていただきましたような多くの領域。特に我々の強みであります消化器イオンチャネル以外の領域でも、主に名古屋大学を中心にいたしまして、非常にメガ的な、メガファーマが魅力を有するような領域の開発。例えば、先ほど言いました心不全ですとか、非アルコール性の脂肪肝炎 (NASH) ですとか、あるいは KRAS 肺癌とか、こういう領域でも名古屋大学との間で、非常に順調に先生方との共同研究は進めております。

さらに、現在、名古屋大学を中心にいたしまして、東海地方へ、岐阜薬大、あるいは名古屋市立大学等も連携を強めておまして、そのような先生方との間でも共同研究を進めている状況です。

#### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

4) ラクオリア イノベーションズ株式会社



ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved 29

最後に、一昨年の12月に設立いたしました、ラクオリア イノベーションズ。これは引き続き、創薬研究支援、希少疾患支援、それからベンチャー支援の3本の柱を中心にいたしまして活動を展開する。

特に2020年12月期は、支援候補先ベンチャーとの連携を強化して、より具体的な案件を組み立てていくと。そういう活動を計画しております。

一応、以上でございます。ありがとうございました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 質疑応答

---

**司会：**谷様、ありがとうございました。それでは、これから質疑応答に入ります。

なお、この IR ミーティングは質疑応答部分を含め、全文を書き起こして公開する予定でございます。したがって、質問の際に会社名、氏名を名乗られますと、そのまま公開されますので、匿名を希望される場合は名乗らないようお願いいたします。

それでは、ご質問のある方、挙手を願います。

**質問者：**三つ質問があります。一つは tegoprazan の国内の展開のお話です。短信とかいろんな資料では、韓国 CJ 社との協力関係云々という説明になっています。これ、先ほど欧米への、要するにグローバルライセンスの拡大をやっているんですけども、国内についても CJ 社とこの辺りの提携の拡大みたいなものを交渉なり検討なり、考えがあるという、そういう理解をしてよろしいのでしょうか。それが第 1 点です。

**谷：**そのようにご理解いただけて結構でございます。ただ、まだ具体的に発表と、ご存じのとおりいろんな条件を全部整えないといけませんので。ただ、方向としてはそういうところで、先方のカン社長という方がおられるのですけれども、日本でも一緒にやりましょうということで、そういうトップ同士で話はしていてそれをどう具体的に落とし込んでいくのかを、実務レベルで検討していくと。その実務レベルの検討が終われば、それは改めてまた社外なりにお知らせしていくと。そういう状況と、ご理解いただければと思います。

**質問者：**2 点目は、残念だったんですけども、Meiji Seika ファルマさんとの統合失調薬。これは P3 が有意性が出なかったということなのですが、これは結局、今、一生懸命交渉中という以上のことはなかなか言いにくいとは思いますが。

御社としては当然、これは継続、試験再開というか、どんなかたちを考えられて交渉しているのかなと思うのですが、この辺りの展望、今、言える限りで、可能な限りで、例えば今期中には何か結論を出したいとか、そういうスケジュールのタイムテーブルも考えたお考えを聞かせてもらえませんか。

**谷：**いろんな可能性があります。もちろんベストは当然、Meiji Seika さんが開発を継続していただいて、大日本住友さんがおやりになられたように、もう 1 本、フェーズ 3 を走らせると。少しプ

---

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





ロトコルなり患者数に、端的に言えば患者数を増やしたらいいんですけれども、有意差を取るためには。そういうところも一つの選択肢としてはあるし。

もう一つはこういう向精神薬に、我々は独自で開発するのはもちろんちょっと難しいんですけれども、こういう向精神薬をパイプラインに入れたい、あるいはマーケット、販売ラインに入れたい会社さんと新たに提携するとか。そういういくつかの可能性は当然、ライセンス屋としてはございますので、そういう可能性も含めて、まずはもちろん Meiji Seika ファルマさんが今、国内での開発権をお持ちですので、いろんな案について検討させていただいているところです。

実際にはやるにあたっては、例えばどこか次の会社、次のという言い方はちょっと語弊がありますがけれども。別の会社さんにやっていただく場合にしても、例えば Meiji Seika ファルマさんの非常に協力が必要なんですよね。それはご理解いただけると思いますので、まずは Meiji Seika ファルマさんと、どんなかたちが Meiji Seika ファルマさんにとってベストであり、我々にとってもベストであると、どうかたちがあり得るのかをいろいろ担当の方と、いろんな案について検討させていただき段階ですけれども。

いずれにせよ、当然いつまでも、治験に参加していただいた先生方のいろんな要望、あるいは患者さんのいろんなリクエストもございますので、そんなに遠くない将来には次の試験を Meiji Seika ファルマさんと合意していきたいと、今、鋭意やっております。

**質問者：**よく分かりました。三つ目です。最後です。カリフォルニアのサンディエゴに新拠点というリリースがありました。これについて今回、説明がなかったので、改めて、これはどういう意味合いが御社にとって、研究開発とか意味合いがあるのか。その規模だとか、お金だとか、ざっくりと分かる範囲で結構なので、ご説明いただけますか。

**谷：**とりあえずはサンディエゴ大学に拠点を設けまして、こちらから研究員の1名を派遣して、まずは情報収集、それからスタートさせようと思っております。

その中からいろんな共同研究の案件なり、どちらかといえば、ベーシックな意味での共同研究の案件。それから、何もかも期待するのは酷なんですけれども、もう一つはやっぱり特に米国に展開しているベンチャーないしは大手メーカーとのいろんなやり取りですね。これはどの製薬会社さんもやっておられるんですけれども、そういうやり取りのリエゾンのな役割もできれば。

ただ、全部をこの1人にやらせるのは、なかなか難しい話で。まずはサンディエゴを中心といたしました、アカデミアとのいろんな共同研究の種を探っていくと。その辺りからスタートさせていると、ご理解いただければと思いますけれども。

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



ちょうど、うち、研究部門担当の渡邊がまいっておりますので、何か補足することがありましたら。

**渡邊**：研究担当の渡邊です。少しだけ補足させていただきますと、弊社の研究部門にいました研究員1名が今、アメリカに行っておりますけれども、今、谷社長が申しましたように、アメリカの場合はボストンと西海岸のサンフランシスコ、それからサンディエゴと三つが一番、そういったところの拠点になるかと思っておりますけれども。

我々がまずサンディエゴのUCSDのほうにオフィスを借りて、最近京大さんもそこに入ったというニュースがあると思っておりますけれども。サンディエゴは比較的、我々のような小さなベンチャーが入っていくには入りやすい土地柄で、いろんな新しい技術ですとか、いろんな研究をやられている先生、それからバイオベンチャーがたくさんありますので。そういったところと我々は協業、あるいは技術の提携も含めまして、いろいろな最新の情報を取り入れたいという思いが強くなりまして、研究拠点ということで設置させていただいております。以上です。

**質問者**：この派遣した1名、これはどういうレベルの人。例えば、御社でいくと、かなりの選りすぐりというか、若手の素晴らしい人とか。そこら辺のことも教えてもらえますか。

**谷**：あまり個人情報はいけませんけれども。ずっと弊社で研究を展開してまいりました、Ph.D.の学位も有しております、こういう言い方をしているのかな、**渡邊**さん。**渡邊**に次ぐ。

**渡邊**：今1名派遣しているのは、名古屋大学に我々は拠点がありますけれども、名古屋大学の特任教授という肩書もありまして、我々の研究部の生物系の研究部の部長を担当していたものが今1名、そちらに行っております。

**谷**：ですから、いわゆるエースを送り込んでいると、ご理解いただければと思います。

**質問者**：よく分かりました、意気込みが。ありがとうございます。

**司会**：それでは、ほかにご質問のある方、いらっしゃいますでしょうか。

**質問者**：ご説明ありがとうございました。私から4点ありまして、一つ目が中国のtegoprazanの話なんですけれども。19年の12月27日にEEの主要評価項目の達成を発表されたということで、これはNIHのクリニカルトライアルだと20年7月に終わる想定が、結構早まって発表されたというか、リクルートが多分、早く進んで発表されたということだと思っておりますけれども。

NERDのほうも一応、20年4月に終わる予定で、EEと同じような疾患と考えると、そろそろ終わっていてもいいのかなと思ったり、個人的にするんですけれども、その辺はいかがでしょうか。

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



**谷：**実は中国についてはCJを介しておりますので、あまり詳しい情報は我々としても入っておりません。CJのほうからは順調に進んでいるよという情報は得ておりますけれども、それ以上の詳しい情報は、もちろん我々はLuoxinともコンタクトはあるんですけども、Luoxinに直接聞きましても、それはCJとの関係上、言えないという返答がまいっております。

ただ、CJの話等を聞きますと、非常に多分これは武田さんのやつが結構、中国でも開発が進んでおりますので、武田さんより早く先んじて上市して、それで進めるということで、かなり開発を加速しておられると。特にリクルートなんですね。この薬剤は、ある意味では効くことは分かっている薬剤でして、変な副作用はまず起こらないだろうとなりますと、いかにCFDA、チャイナFDAの基準にミートするような患者さんを集められるか、そこで非常に、例えば病院数を増やすとか、おそらくそういう加速をされていると私どもは理解しております。

できるだけ早く上市して武田、ナイコメッドですよ、中国は。そこのところが出てくる前に、一挙にやってしまうという戦略ではないかと推測しております。

**質問者：**よく分かりました。ありがとうございます。2点目がtegoprazanの院外処方データの売上を開示していただいていると思うんですけども、これは10-12月がかなり伸びているなという印象なんですけれども。これは何か季節要因、ないとは思うんですけども、どういう経緯で。

**谷：**風邪じゃありませんので、ないとは思いますが。ただ、これは日本の営業も一緒やと思うんですけども、やっぱり年末に向けていろんな営業要員の評価は決まっていますので。それをもとに、そういう営業本部のインセンティブもあって、営業本部長も私、よく知っておりますけれども、非常にいいドライブをかけたんだということを、12月に行ったときもおっしゃっておられました。やっぱり向こうも年末にぶち込めば、それだけ来年のまた給与も上がるという状況なので、そういう要因は結構あるのだなと感じておりますけれども。

**質問者：**そうすると、12月まではすごいけれども、1月は下がるみたいなことはなく。

**谷：**そういうことは、反動は懸念されるんですけども、日本のあれは大体1月はそんなにでない。特に韓国の場合、また旧正月がありますので、おそらく1月は若干あっても不思議ではないと思います。ただ、カン社長自身は早くこれを1,000億ウォンの製品にしていくなだと、常々これは社外的にも言っておられて、非常にその意気込みは強いと。

ですから、早期に、何年以内に1,000億というのは当然おっしゃられないんですけども、日本でいいますと100億円ですけども、1,000億円の製品に早くやるんだと。数年以内に1,000億にす

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



るんだということを非常に強く言っておられますので、頑張った反動は少しありましても、やはりその後は順調に再びドライブがかかると考えております。

**質問者：**承知しました。ありがとうございます。あと、動物薬についてなんですけれども。こちらは売上とかは開示できないと思うんですけれども、北米と欧州だとマーケットとしてどっちが魅力的なのかを、売上の立ちから何となく分かってきたのかなと思うんですけれども、その辺は。

**谷：**何となく分かっているんですけれども、もちろん我々は実は国別の売上高も把握しております。まだまだ実は欧州はこれからであると。大体ざくっとした感じが、まだ米国の10分の1ぐらいですね、欧州は。ただ、これはこれから伸びていくんだと思います。

ただ、これは与太話に近いんですけれども、ペットの売上で、やっぱり犬の体重によって左右されるんですよ。40キロのレトリバーと数キロの柴犬とか、そういうのは全然消費量が違ってきます。そういう意味で、多分、米国は大型犬が多いと。これはヨーロッパの実は一覧表、手元に持っているんですけれども、なるほど大型犬の多そうな国は結構、数字が伸びていると。ところが、フランスなんかは結構、イメージとして小さな犬が多そうですね、やっぱり低いというところで。これはヨーロッパはまだ昨年開始したところです。

それから、あと今回、エランコはバイエルとも合併いたしましたよね。そういうところで、もともとエランコはノバルティスの動物薬部門も基盤に持っておりますので、ヨーロッパは多分これから、特に大型犬を主体とした国、具体的にいいますと、スペインとかドイツ、イギリスですね。この辺りがどうも大型犬が多そうで、こういう市場分析はないんですけれども。こういうところで実際に数字もこの辺りは結構、好調に今、推移しておりますので、そういうところから順調に動いていくと。

欧州のほうも、もともとはアラタナは米国と欧州をほぼ同規模になるよと、株の売り出しのときに言っておりますので、まだまだそこにはいっていないんですけれども、なかなか面白い今、パターンを示しているかと思っております。

なかなかペット薬というのは、実は市場分析とかがほとんどないので、我々自身もこういう情報を見ながら、いろいろ次の戦略というか、我々自身の計画をどう考えるかを見ているところなんです。

**質問者：**ありがとうございます。これは私から最後の質問なんですけれども、今回の資料でテムリックの部分が結構足されたと思うんですけれども、今、直近で走っているP2試験が新規患者で化

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



学療法不適応な AML の患者の P2 と、もう一つは再発難治性の AML の P2、この二つの理解でよろしいでしょうか。

**谷：**はい。それをアザシチジンとの併用でやっております。この辺りは我々、あるいはテムリックよりも、米国の会社のほうがはるかに専門家ですので、この領域のこういう開発については、その戦略で、一挙に早い FDA からの承認取得を狙っているのだらうなと考えております。

実際にこの間、サンフランシスコで Syros の関係者とも会いましたけれども、非常に自信を持っている様子うかがえました。これは非常に印象的な話ですけれども。

**質問者：**これは御社では、この 2 本が P3 に入る認識なのですか。

**谷：**そうですね。全体として AML の患者の承認を取っている。それもあとは FDA とのいろんな折衝もあると思うんですけれども、いわゆるその 2 本ですね。それで入っていくと考えております。

**質問者：**ありがとうございます。以上です。

**司会：**ほかにご質問のある方、いらっしゃいますでしょうか。

**質問者：**ご説明ありがとうございます。いくつかあるのですが、まずこれは数字のほうで、19 年の 12 月期の売上の 17 億円、可能な限りで結構なんですけれども、これの内訳ですね。例えば一時金とマイルストーンでくくり、あるいはロイヤルティでくくり、このようなところで、ざっくりどんな割合になるのでしょうか。

**谷：**これは河田のほうから。

**河田：**河田でございます。19 年に関してはざっくりな数字になりますけれども、全体の大体 40% ぐらいがロイヤルティですね。それ以外の非ライセンス先からのマイルストーンが 26% 程度ということで、残りということよろしいでしょうか。

**質問者：**同じく、今期のご計画 21 億円、これももし可能であれば。

**河田：**大体で。

**質問者：**それはもちろんです。

**河田：**正確な数字は私は分かっていますが、大体、当然ロイヤルティは今後増えていく前提での数字となっております、40 半ばと考えていただければいいと思います。

**質問者：**ちなみに、新規の提携による一時金などは、結構この中には見込んでおられるのですか。

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



**河田**：それは一部ありますね。ただ、それ以外にマイルストーンとか、それなりの前年同比ぐらいなパーセンテージが上がってきますので、そういうことを考えると、かなりのパーセンテージは既に契約済みの会社からの収益と、考えていただければよいかなと思います。

**質問者**：分かりました。あともう1点だけ。費用の概要のところにも創薬基盤の拡充という言葉が一貫して出てくるんですけども、これは具体的にどのようなものを指しておられるのですか。例えば、今やられている低分子以外の、何か別のモダリティのようなものもお考えなのかどうか。

**谷**：今のところ、やはりイオンチャンネル、それからもちろん大学との提携。イオンチャンネルと、それからいわゆるハイスループットスクリーニング的な合成能力ですね。この2本立てという基本方針は変えておりません。

ただ、その中で機械の更新等も、実はかなりこの中に入ってきております。我々はファイザーの研究所から独立いたしましたして既に10年、もちろん名古屋大学さんのいろんな研究機器も使わせていただいているんですけども、我々自身の研究機器もぼちぼち更新時期に入ってきていることもありまして、そうご理解いただいて。

特にイオンチャンネル、もしくはその合成ですね、ハイスループットによる合成。この辺りはその基本方針は変わっておりません。むしろ古くなってきた機器を技術革新に応じて新しいものに変えていく。そういうイメージで捉えておりますけれども。

**質問者**：分かりました。ありがとうございます。

**質問者**：1点お伺いしたいんですけども、前期にCJ社とグローバルパートナーシップが拡大されたということなんですけれども、それはもともとCJ社をパートナーとして選択された理由は、こういった動機があったのでしょうか。

**谷**：10年前で、私自身もその当事者だったんですけども。もともと当時は、あまり内幕を申してもあれなんですけれども、結構、国内メーカーからも引き合いがあったんですよ。2010年、あの辺りでは。むしろCJさんには、東アジアをお任せするイメージだったんですね。

ところが、その後、どちらかという、国内メーカーさんは消化器領域からむしろ撤退されていくと、消化器領域の大型新薬を、アステラスさんなんか典型なんですけれども。シメチジンから始まってガスターとかをお持ちでしたけれども、あれはゼリアさんとも提携されておりましたけれども、むしろそういう領域から撤退されて、がんのほうへいかれている状況ですね。

国内メーカーさんはどちらかという、この領域はあまり大きな声が出せなくなっている。その部門を担当されるということで、CJさんのウェイトがどんどん増えてきている。CJさんは逆に韓国

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



の方々のいろんなプライドもおありなので、これをいわば自社新薬として、自国発の新薬としてやっていきたいということで。

CJさんのモチベーション、それからもちろん臨床試験をやるにしたがって、いいデータがどんどん出てきたこともあって、CJさんのモチベーションがどんどん上がってきた。その結果として、そういうふうに今の現在に至るような、ほぼワールドワイドな提携拡大まで進んできている。

でも、私たちが2010年に実はCJさんとお話させていただいたときは、東アジアをお任せするけれども、日本と欧米については我々でまたパートナーを見つけていきたいねという思いがあったんですけれども。その後のいろんな情勢の変化、それからCJさん自身の非常にモチベーションの向上というのがありまして、こういう現在の大きなパートナーシップの拡大、グローバルパートナーシップに移っていると。そうご理解いただければと思います。

**司会：**それでは、もう予定時刻がまいりましたので、以上をもちまして、ラクオリア創薬株式会社様のIRミーティングを終わらせていただきます。

皆様、ご参加いただきまして、ありがとうございました。

**谷：**どうもありがとうございました。

[了]

---

## 脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

